

YAHATA HIGH SCHOOL BRASS BAND CLUB

THE 5th REGULAR CONCERT

'91 8/18(SUN) YAHATA CITIZEN'S HALL



主催：八幡高校吹奏楽部OB会
後援：九州吹奏楽連盟北九州支部



==== ごあいさつ ====

八幡高校吹奏楽部OB会会長 杉名 信二

本日は暑い中御来場頂き、誠に有難うございます。

早いもので、本年は本校吹奏楽部15周年の節目の年であります。本校吹奏楽部は、創部以来、「吹奏楽」を通じて皆様の安らぎと幸福を追求することを理念として活動してまいりました。まだまだ演奏技術、精神力とともに未熟ではございますが、生徒たちの日頃の練習成果と若いエネルギーを御感得いただければ幸いです。

今後とも、本校吹奏楽部に温かい御指導、御支援を賜りますことを心より御願ひ申し上げます。

吹奏楽部部長 鬼塚 正大

本日は、御忙しい中、御来場頂き、誠に有難うございます。

皆様のおかげをもちまして、本校吹奏楽部の定期演奏会も今年で5回目を数えることができました。この定期演奏会は本校吹奏楽部の年間行事の中でも最大のイベントということもあり、部員一同暑い中を連日、本日の為に、一生懸命頑張ってまいりました。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

また、この演奏会を開催するにあたり御支援、御協力くださった先生方、合唱団として御参加下さいました皆様、及びその他関係各位の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。

PROGRAM

指揮 野田 公 児
司 会 邑 中 憲 一
 邑 中 真由美

1 st

祝典序曲

A Festive Overture for Concert Band

A. リード 作曲
Alfred Read

吹奏楽のための詩曲「アトモスフィア」

A Poem "Atmosphere" for Symphonic Band

名 取 吾 朗 作曲
Goro Natori

ラプソディー・イン・ブルー

Rhapsody In Blue for Piano & Orchestra

ピアノ独奏：木 村 慶 子

G. ガーシュイン 作曲
George Gershwin

2 nd

— Burning Stage —

THE POPS

— ポップス・ステージ —

3 rd

交響曲第2番 ハ短調「復活」より

Symphony NO.2 Cminor "Resurrection"

第5楽章 スケルツォのテンポで一荒々しく行進して

ソプラノ：中 真有美

合 唱：八幡B.B.C合唱団

G. マーラー 作曲
Gustar Mahler

指揮者紹介

野 田 公 児



野田さんをこれだけのスペースで語ろうなどということは大変難しいのですが、一言で言えば?!プロレスと共に人生を歩んでいるお方です。夏になると時々“長州力”のTシャツを着て指導しに来られます。普段はとても楽しく、ぶっとんだギャグも飛ばしますが、指揮棒を握ると、ここぞとばかりに厳しいお言葉を投げつけます。とにかく…まだまだ謎のありそうな、何とも奥深いお方です。



＝＝＝ 曲 目 紹 介 ＝＝＝

1 st

吹奏楽のための詩曲「アトモスフィア」 ♪

この曲はタイトルの示すように「現代環境の雰囲気」とか「気分」といった、いわゆる現代の私達を取り巻いている様な環境の雰囲気を、私自身の感じているままに表現したものです。

この作品の音構成の基準は、4度、5度、長7度又その増音程等によっているが、演奏部と中間部に調性を持たない長3度の響きが、単なる色彩として中低音部に使われている為、ときには大変耳ざわりのよくない響が出て来ます。一般的な美しいメロディーやハーモニーは出て来ませんが、この曲の意図するところを、ご理解の上お聴き下さい。（作曲者 談）

ラプソディー・イン・ブルー ♪

この曲を紹介するのに、よく「シンフォニック・ジャズ」という言葉が使われます。アメリカが何としてでも「アメリカらしい、しかし交響的な」作品を得たいと腐心していた1920年代。「シンフォニック・ジャズ」の分野で初めての成功作と言われるのが、この「ラプソディー・イン・ブルー」です。この曲にはTVのCMにも使われていたことがあり、みなさんも一度は聞いたことのあるメロディーだと思います。本日は、ピアノ独奏に木村慶子先生をお迎えしてお送りします。

〈ゲスト〉ピアノ独奏 木村 慶子 ♪

八幡西区出身。幼少の頃からピアノを始め、藤崎晴美、増田恵子 各氏に師事。八幡高校卒業後、宮崎大学教育学部特音科に進み、ピアノを専攻。在学中はコントラバスも修得。現在小倉高校教諭で、吹奏楽部の指揮者としても活躍しておられます。

3 rd

交響曲第2番 ハ短調「復活」より ♪

今回演奏する第5楽章は、全楽章のうち最も演奏時間が長く、楽器編成も大がかりなもので、全体が3部分に分けられ、特に後半の部分は合唱を中心とします。この合唱こそがこの曲が「復活」と呼ばれる由縁で、マーラーは恩人ともいえる指揮者ハンス・フォン・ビューローの葬儀の折、教会の聖歌隊が歌ったクロプシュトックの「復活讃歌」を聴き、合唱部分を書いたとされています。本日はソプラノ独唱に中真有美先生をお迎えしてお送りします。

〈ゲスト〉ソプラノ独唱 中 真有美 ♪

小倉北区出身。小倉西高校卒業後、愛知県立芸術大学声楽科に進み、同学を首席卒業。小手川昌子、故筭義也各氏に師事、以後地元北九州において数々の演奏会やリサイタルを開催、出演。この数年間に多くディプロマを授与され、現在では合唱団との共演をはじめ、多くの演奏活動を行う傍ら、コーラスの指導も行っておられます。東九州女子短期大学、下関女子短期大学付属高校講師。北九州大学合唱団ヴォイス・トレーナー。北九州音楽協会、北九州日独協会会員。

＝ パート紹介 ＝



＝ Flute & Piccolo ＝

こんにちは。Pretty girl 4人組のFluteパートです。社交家の歩ちゃんは、よくオーボエがフルートパートだということを忘れます。平和主義者でピンクのオーラを放っているたろーは、ブラバン1変だとうわさされております。合気道初段ののんちゃんは、いつ何をやりだすか分かりません。一見真面目そうに見えるのぶちゃんも、日に日に染まりつつあります。何ともなごやかで平和なパートですが、最前列なので、野田さんの怒りを直射日光のように浴びています。今日は4人の愛のハーモニーをお楽しみ下さい。

＝ Clarinet ＝

私たちClaパートは、秘かに剣道の達人だったりする男クラの3年T先輩を中心に、高2とは思えないしぶさを持つA先輩、心から孤独を愛するO先輩、来年の学生指揮I先輩、決して笑顔を忘れないH先輩、そして何だかわけのわからないO、見かけは真面目だが実はとんでもないM、チューナーが9500円もしたとぼやいてばかりのK、唯一のまともな1年S、抑場のない口調のM、プリンスホテルを知らない北九州市民Yの計11人日夜練習に励んでいます。今日はプロ顔負けの美しいClaの音色をお楽しみ下さい。



＝ Saxophone ＝

我がサクソパートはとにかく明るいパートでせう。その理由とは?!パートを育成する5人娘……たまにかましてくれるボケがナイスな礼子先輩を筆頭に、オペラのような笑いと妙なギャグで周りを笑いの渦に引きこむかおる、何が起っても冷静でたまにふくみ笑いをするルミ、お天気屋でよく寝るあつこ、スリムなBodyでどでかいSaxを吹くしっかり者のみつこによります。そんな私たちの音色で今日はあなたをく・ぎ・づ・け♡



＝ Oboe & Faggotto ＝

海水浴の季節も過ぎ、ツクツクボウシの声に秋を感じる今日この頃、皆様いかがお過しのことでしょうか。このパートはまだ歴史も浅く、知名度も(人気も)ありませんが、そのひたむきな情熱とパワーで毎日練習に励んでいます。メンバーは今年5月に入部し、「えー、できませんよー」で全てをゴマかすファゴット奏者と、彼のおかげで無茶苦茶になった合奏は星の数ほどあるといううわさのオーボエ奏者の総員2名(欠席、見学なし)で構成されています。まだまだ未熟なパートですが、御声援の程よろしく願います。



＝ Horn ＝



えー、八高ホルンパートをざっと紹介いたしましょう。無表情でCoolだけどやるときゃやるO君、元気がとりえです、かりあげがまぶしいSさん、ホルン吹きになって5か月、ファンキーなS君、“ウキャキャ！”笑い声も?! 笑顔もかわいいFさん、おとなしいけどバレーボールのうまさはピカ1のM君、練習熱心でうさぎに似てるPrettyなOさんの計6名です。いつも野田さんに大目玉をくらう“問題のパート”ですが、今日は6人の奏でるハーモニーを最後までお楽しみ下さい。あなたのために、精魂尽きるまでホルンはほえ続けます。

＝ Trumpet ＝

まさに“欽ちゃん二世”の新倉先輩。練習熱心で返事の声も大きい長野先輩。女子だけにやさしい永山先輩。トランペットパートを盛り上げる凸凹コンビの1人、田中先輩。自分のペースを守り、いつものんびり我が道を行く花田先輩。いつもはいもでも芋じゃない妹塚君。一見真面目、しかしその正体は……勝負師金岡君。さまよえるトランペットパートの子羊米本さん。この8人の美しい音色をお聴き下さい。

かしこ



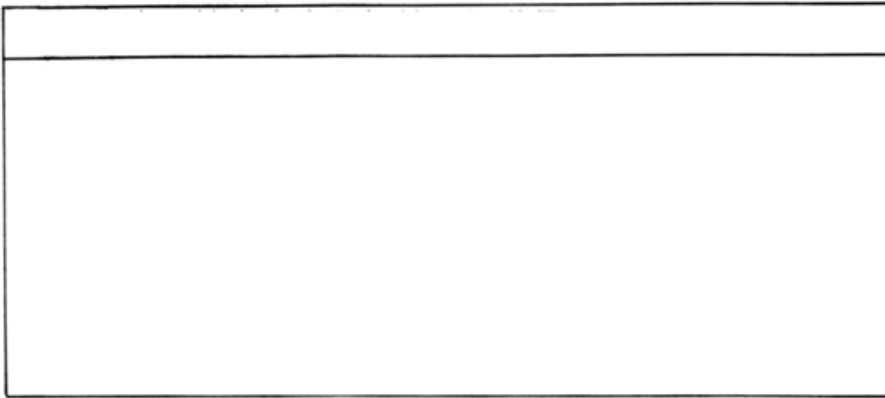
＝ Trombone ＝

部活1トロピカルなパート、トロンボーンです。ニューギニア産パイアのように優柔不断なみかほちゃん、フィリピン産バナナのようなしっかりなおちゃん、カリフォルニア産レモンのように初々しいさゆりちゃん、パプア産キウィのようなまだまだ青い15才浩江ちゃん、無農薬栽培のスイカのように味わい深い松尾君、1年生のくせに部活につかってしまったハウス産完熟トマト中村君。こんな真夏の果実達が毎日南国のムードと汗の匂いを漂わせながら練習に励んでいます。今日は産地直送南太平洋の楽園を皆さんにお届けしましょう。



3年生紹介

 有吉 歩	<p>立てばシャクシャク、座ればボタン、歩く姿はユリの花。その上頭が切れて愛嬌もあって優しく、後輩の面倒見がよい歩ちゃん。こんな歩ちゃんの最大の喜びはファンが増えることです。フルートのパートリーダー&木管セクションリーダーである彼女の周りはいいつも人でいっぱい。また、その場の状況を考えない“あゆみギャグ”は一世を風びました?!そして……隠された特技は Donald Duck の顔真似なのです。</p>	 菅原 典子	<p>“ブービー”ことぶくぶくぶんちゃんは、お菓子のあるところには必ずもの欲しげな目で現れるというおもしろい女の子。明るさ&元気だけで生きているようにも見え、所かまわず踊り出したりする彼女ですが、練習中はすごく真面目で、練習が始まるとすぐに外へ飛び出し、Hornと格闘しています。おもしろくて、優しくて、かわいくて……そしてちょっとびり厳しいブービーは、Hornパートのすばらしい?!パートリーダーです。</p>
 辻 宏幸	<p>ほのぼのとした雰囲気漂わせる辻君は何を隠そうアニメfunである。そのためか時々わけのわからないぐさで部員を笑わせている。とても練習熱心で、後輩達に優しく親切に指導して尊敬されているが、時々無言で背後に立ち、後輩達の心臓を弱らせている彼。そんな彼の18番は、クラリネット愛好家達が努力を重ねて出せる、酔っぱらったような独特な音色を出すことである。今日はそれをとくと御覧に入れよう!</p>	 新倉 晶子	<p>やること全てが笑いの種となる新倉さんは、いつも明るく、何事にも一生懸命。彼女の周りには笑いが絶えず、たまに理解しがたい行動をとって後輩にバカにされてしまうことも……。しかし、トランペットを吹いている時は人が変わり、そのでかい音量と冴えわたるハイトーンで今日もみなさんを魅了するだろう。女の子ながら、1st Tpの座をKeepしてきただけあり、なかなかの根性者なのである。</p>
 園田 礼子	<p>1日が48時間ありそうなそのれれは、一見おっとりしているように見えるが、いつも“ダーツ”と言って人のおなかにパンチをしてくるstrangeなお人だ。パー練中にかましてくれる大ボケで、笑いが止まらなくなることも……。でも、やるときはキメてくれるのだ。愛するシルバーSaxを相棒に“目指せ女D.サンボーン”とばかりに吹きまくるのである。Saxパート4人娘を引っばってきたお姉さんそのれれである。</p>	 長野 志織	<p>しおりちゃんは、“志織”という名の通り、とても女の子らしくてかわいいやつ。ところがかわいらしいばかりでなく、誰よりも部活思いで練習熱心かつ努力家。ここまでだとすごく真面目そうに見えるが、やっぱり真面目なのでござるよ。そして部内の初代業係係を立派にやりとげ、一躍有名になっちゃったでござる。2年間の短い間だったけれど、人一倍部活に貢献したしおりちゃんに部員一同感謝いたすでござる。</p>
 多田 洋	<p>“清田の地に住む自転車少年”多田君は、見るからに真面目そうであるが、その正体は謎のベールに包まれている。学生指揮を努めた彼は信頼もされているが、突然のボケギャグで部員を悩ませることもしばしば……。入部当時はファゴット奏者として活躍し、時折り魔がさすと、ウィンドシンセプレーヤーに早変わり。ミステリアスなオーボエの音色は、裏山の小鳥をも魅了してしまうのである。</p>	 長野 美佳穂	<p>“サラサラヘアー&富士額”のみかほちゃんは、Tbパートをずっと支えてきた、いわば姉さんのような存在である。「自分には甘く、他人には厳しく」の精神がなきにしもあらず、とんだギャグを言い、パート内を笑いの渦に引きこんでも平気な顔をしている彼女。だが、びちっとパート内を引きしめてはバリバリ練習を始め、私たちを圧倒させるのだ。みかほちゃんいはく、「私、わがままじゃないもん!」</p>
 大山 直人	<p>一見おとなしそうに見える大山君、人呼んで“金さん”は、実は中間から浅川まで1時間半もかけて歩いたりするようなちょっとお茶目なやつ。おそらく金さんの行動を予測できる人は、この世にいないでしょう。後輩が練習していると、足音もなく現れてちょっとびっくりさせますが、親切に指導してあげます。1人で黙々と練習し、音の限界を知らないと思うほどどんな高い音でも吹きこなしてしまいます。</p>	 松尾 大輔	<p>“Tbパートにこの人あり”と言われてきた“おやじ”こと松尾君は、持ち前の明るさと体力で暑い日も寒い日も練習熱心。ただ、毎日伸び続けてついにベティちゃんのようになってしまった髪型がたまにきず。(最近、カットしたため、さわやかBoyへと変身?!)後輩思いの彼は、4人の弟子達を優しく厳しく指導し、とても頼りにされているのだ。今日は、あまり目立たないおやじをメンバーみんなで盛り上げるぜ!</p>



 小田 綾	<p>女の子ばかり3人Euphパートを支えてきたあやぶーは、泣く子も黙るSuper Girl。会計係としての活躍はすばらしく、「部費払ってー。」の迫力ある声に悩まされた部員も少なくないでしょう。このようにたくましい彼女ですが、あやぶーの手作りお菓子はほっぺが落ちそうなほどおいしく、部員一同いつも心待ちにしていました。そんな彼女は、どこへ行っても、みんなに頼られることでしょう。</p>	 小田 美保	<p>美保は、一見おとなしそうに見えますが、実はとんでもない変わり者で、雪の日に同じ所で何度もすべったり、練習中突然こけたりと数々のドジぶりを披露し、パート内1のトロさを誇っています。でも、ティンパニーをたたかせると………日頃のトロさはどこへ!? というほどのパワフルさ。サンパホイッスルも大得意です。また、彼女は遠い遠い所から毎日学校へ通う根性者、やるときゃやってくれます。</p>
 稲森 健太郎	<p>調子の良さなら天下一品。女を見ると、すぐに声をかける稲森君。これでも去年1年間部長を務めた彼は、みんなの意見も耳にも入れず、独走体制をKeepしてきた。果たしてこんな彼に、部員をいたわる優しいハートがあるかないかは永遠の謎である。彼なしの八高プラスが考えられるだろうか。いや考えられない。彼のおかげで、八高プラスのメンバーはみんなわがままと化してしまった……。</p>	 後藤 象悟	<p>いつも“ほうき”を片手にせせと部室を掃除し、後輩にもていねいに掃除の仕方を教えてあげる後藤君。彼は典型的なA型というのでしょうか、とても几帳面なのです。鍵盤が大得意で、後藤君の手の動きは感動もの、思わず見とれてしまいます。見た目は近よりがたいけれど、話してみるとかなりのひょうきん者で自称“真面目”。でも、悲しいことにいつも行動からか、誰にも認めてもらえないのです……。</p>
 澤邊 俊彦	<p>洞海湾を渡る夜風が彼のハートを熱くする。チェック/今日も汽笛が彼を呼んでるぜ。(渡船にて)生まれも若松、育ちも若松、河童とともに17年。高塔山がテリトリー、響灘がプライベートビーチ。そして、渡船がゆりかごさっ。1973年9月18日、この世に生を受けた1人の少年がTubaを吹くとは、一体だれが考えようか。2年連続男クラとなってしまう彼は、数少ない女子との接触のチャンスをもものにするため、いつも頑張っている。</p>	 長尾 修一	<p>根っからの真面目で練習熱心な長尾君は頭もよく努力家である。読書が好きで、少女マンガからギリシャ神話まで多種多様な本を読んでいる。時間に正確で、練習が始まると同時にやってきて、終わると同時に帰ってしまう彼。照れると頭をぼりぼりかきながら首をかしげる長尾君も、練習中はもくもくとわきめもふらずにうちこんでいる。しかし、普段はおっちょこちょいのうっかり者なのである。</p>
 竹内 真紀	<p>今年の4月Bassパートの紅一点で頑張ってきたまきちゃんは、スリムなボディとはうらはらに、あの大きなSting Bassを軽々と片手で持ち上げ、人差し指でぐるぐる回すことができるほど力持ち。パート練習の時はあねごパワーを発揮し、テキパキと注意&指導をしています。まきちゃんは冬になると顔がまんまるになってしまいますが、欠席すると珍しいと言われるほど部活熱心で努力家な中間のおなごです。</p>	<h3>3 年 間</h3> <p>おつかれさまでした</p>	
 石丸 竜一	<p>何よりもドラムを愛する石丸君は、面倒臭がよく、何も考えてないように見えて本当は人一倍しっかりしている明るいやつ。ドラムをたたき始めると、我を忘れて自分の世界に入ってしまう彼は、いつもは水菜のようですが、いったん燃えると怖いくらい練習しまくり、休日には朝早くから夜遅くまでドラムの音を響かせています。このため、彼のStickは傷だらけ。こんな石丸君の口ぐせは「フィーバー、フィーバー!」です。</p>		

♪ Stage Member ♪

Vice Director 堀 切 千穂美 Conductor 野 田 公 児
 Captain 鬼 塚 正 大 Student Conductor 多 田 洋

★パートリーダー

Flute&Piccolo	★③	有 吉 步	(高 見中)		③	長 野 志 織	(尾 倉中)
	②	岡 本 美 保	(中間南中)		②	田 中 勲	(引 野中)
	①	長 野 紀 子	(浅 川中)		②	永 山 一 智	(上津役中)
	①	横 山 伸 子	(沖 田中)		②	花 田 裕 美	(向 洋中)
Oboe	③	多 田 洋	(高 見中)		①	妹 塚 壮	(黒 崎中)
E♯Clarinet	②	岩 見 嘉 子	(中間南中)		①	金 岡 正 裕	(本 城中)
B♭Clarinet	★③	辻 宏 幸	(折 尾中)		①	米 本 ゆ み	(高 須中)
	②	鬼 塚 正 大	(中間東中)	Tenor Trombone	③	長 野 美佳穂	(八 兎中)
	②	橋 本 明 子	(永犬丸中)		②	倉 光 尚 子	(槻 田中)
	①	大 隈 孝 仁	(上津役中)		①	石 丸 小百合	(花 尾中)
	①	北 口 啓 子	(熊 西中)		①	乙 藤 浩 江	(尾 倉中)
	①	塩 田 恵 子	(高 見中)	Bass Trombone	★③	松 尾 大 輔	(浅 川中)
	①	松 本 洋 幸	(黒 崎中)		①	中 村 裕 樹	(上津役中)
	①	森 伸 子	(花 尾中)	Euphonium	★③	小 田 綾	(則 松中)
Bass Clarinet	②	安 部 寛 之	(沖 田中)		②	山 下 七保子	(熊 西中)
	①	義 金 由貴子	(響 南中)		①	森 美 幸	(槻 田中)
Fagotto	①	染 矢 知 寿	(沖 田中)	Tuba	③	稲 森 健太郎	(洞 北中)
Alto Saxophone	★③	園 田 礼 子	(尾 倉中)		★③	澤 邊 俊 彦	(向 洋中)
	②	久 保 かおる	(千 代中)		①	荒 木 光 司	(枝光北中)
	②	福 永 敦 子	(中間東中)	String Bass	③	竹 内 真 紀	(中間東中)
Tenor Saxophone	②	加 来 流 水	(花 尾中)		①	藤 井 美奈子	(折 尾中)
Baritone Saxophone	①	森 美津子	(尾 倉中)	Percussion	③	石 丸 竜 一	(大 蔵中)
Horn	③	大 山 直 人	(浅 川中)		③	小 田 美 保	(本 城中)
	★③	菅 原 典 子	(熊 西中)		③	後 藤 象 悟	(中間東中)
	②	管 田 清 志	(熊 西中)		★③	長 尾 修 一	(大 蔵中)
	②	藤 岡 陽 子	(永犬丸中)		②	山 本 和 子	(千 代中)
	①	尾 仲 津由子	(中 間中)		①	阿 部 信	(沖 田中)
	①	松 永 崇 志	(中 央中)		①	櫻 井 彩 乃	(芦 屋中)
Trumpet	★③	新 倉 晶 子	(浅 川中)		①	松 本 亜希子	(香 月中)

八幡B・B・C合唱団

YAHATA BRASS BAND CLUB CHORUS

*参加頂きました皆様ありがとうございました。(このメンバーリストは、7月22日現在のものです)
(敬称略)

〈ソプラノ〉

木原節子
江口律子
内田麻里
早稲田朋子
田中由紀子
光城幸恵
伊藤千春
池田裕子
尾仲津由子
松本亜希子
櫻井彩乃
堀江恭子

〈アルト〉

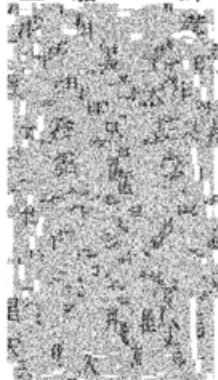
塩田由美
森伸子
横山伸子
米本ゆみ
石丸小百合
乙藤浩江
森美幸子
赤星永裕恵
上野千恵美
柴田野優子

〈テノール〉

田中修二
時川健二
梶山一英
久保田伸一
妹塚一壮
中村裕樹
大隈孝仁
阿部信司
荒木光裕
金岡正志
松永崇志

〈バス〉

有田秀昭
國米良則
三船郷



御礼

福岡県立八幡高等学校吹奏楽部第5回定期演奏会開催にあたりまして、
このパンフレット作成のために協賛広告を出して下さいました方々に感
謝致しまして御礼に代えさせていただきます。本当に有り難うございました。